

# 議案書

## 日本產業勞動協進組昭和九年大度會

### 大會順序

- 遙拜式
- 國歌合唱
- 開會の辭
- 議長選舉
- 副議長選舉並ニ大會書記任命
- 各種委員任命
- 一、資格審査委員
- 二、宣言、規程、約章委員
- 三、議案、採行、係委員
- 祝詞祝電の披露

### 議事

- 大會議案審議
- 役員選舉
- 役員發表
- 宣言發表
- 役員代表挨拶
- 閉會之辭

### 綱領

- 一、我等は雄大にして尊嚴なる建國の理想に従ひ情義を重じ和衷協力して、識見の涵養徳操の確立技術の進歩を圖り以て國家産業の發展を期す
- 一、我等は強固なる結束により相互の福利を増進せしめ着實有効なる方法を以て労働條件の維持改善を圖り社會共存共榮の實績を擧げん事を期す
- 一、我等は我國独自の國情と國民性に立脚し純日本の社會の發展を期し國家を無視し私利私闘を逞しうする徒輩に對しては斷乎として膺懲を期す

### 宣言

建國の本義を基調とし世界に比類し國民性に立脚して眞に産業期り祖國日本の興隆に則して全點社増進その一切の向上を期せん

吾日本産業勞動協進組合は昨年八月結成以來、見たり。然して、この一ケ年間吾等同志は益々日本主義を強固なる信念の下に愛國勞動者の叫合團結を圖り益々確固たる陣營を築きつ、鐵壁たる往年社會民主主義の指導下に於て、非國家的勞動組合を尻目にかたして北九州に發展しつ、茲に光輝年度大會を舉行するに至つた事は慶賀に堪へざる所である

願ふに、從來吾國の勞動運動は、今更此處に多量急激なる歐米直譯の思想に禍され、吾國情と國民性れざる陋弊なる階級闘争に没頭し、其の結果は勢力を激發するに至り純良なる勞動者をも、國家反逆るに至つた。

殊に社會の實情に乏しき資本家は貪慾飽くなき自己の利潤のみをまりと労働階級をして冷眼嫌忌をまつて遂には吾國産業發達の上を招來し、政治、經濟、教育、等々諸般に至つた事は實に吾等の遺憾に非ず

見よ、今や吾帝國は、内外共に非常時に際會し國民舉つて君國の一致協力國難打開への重大時機

るではないか。

茲に於て、吾日本産業勞動協進組合は斯の如き非國は斷乎として、其絶滅を期し祖國日本の興亡は吾等在りとの自覺の下に産業立國の大旗を掲げ、益々同一糸亂れず、全精力を盡して、日土動の擴大強化と祖國日本の興隆にん事を誓ふ

右宣言す

日本産業勞動協進組合

昭和九年八月十一日